平成29年度当初予算　予算要求シート

事業区分：　その他一般　**マスタープラン**　：　**3つの挑戦**　／　**施策番号**　1-2　・　・　・　　**局・課名**　：　健康福祉局・介護事業者課

事業名	**老人福祉施設整備補助**

事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度予算額	平成29年度要求額
	3,209	1,228,779	1,189,589

債務負担行為	期間	要求額（千円）
	H　～　H	

事業概要

【目的】

・3年毎に策定する堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に定める施設整備を進めるため、公募で選定した法人に対し施設建設費等の一部の補助及び開設準備支援を行うことにより、適切な施設整備を行う。
・スプリンクラー等の消防設備を設置していない施設等を運営する法人に対し、設置に要する費用の一部を補助することにより、施設入所者の安全性の確保を図ることを目的とする。
・既存の多床室を有する特別養護老人ホームについて、居住環境の質を向上させるため、プライバシー保護のための改修を行う費用の補助を行う。

【内容】

・公募で選定した法人に対し、施設建設費等の一部の補助及び開設準備支援を行う。
・既存小規模多機能型居宅介護事業所及び宿泊サービスを提供するデイサービス（おとまりデイ）及び有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅に対し、 スプリンクラー等設置に要する費用の一部を補助する。
・既存従来型特別養護老人ホーム多床室に対しプライバシー保護のための改修費を補助する。

（概要）
施設整備…591,742千円、 開設準備支援…162,702千円
プライバシー保護のための改修…207,900千円
防犯対策強化事業…22,000千円
スプリンクラー等設置…205,245千円

【今年度要求のポイント】

・開設準備支援を行うことにより、介護施設等が開設時から安定した質の高いサービスを提供できるよう、その体制整備等を行う。
・高齢者宿泊施設に位置付けられたため、スプリンクラー等の消防設備の設置が義務化されているが、堺市の平成28年9月末時点における有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅のスプリンクラー未設置の施設は9施設あり、補助金を交付することにより設置を促進する。
・防犯対策強化事業を行うことにより、非常通報装置・防犯カメラの設置や外構等の設置・修繕など必要な安全対策を行う。

主な要求内容　（単位：千円）

項目	28年度予算	29年度要求額	内容・積算等
広域型特養整備補助	311,808	408,320	3,712×110床(2施設)
地域密着型特養整備補助	371,490	123,830	4,270×29床(1施設)
小規模老健整備補助	53,400	53,400	53,400×1施設
施設開設準備支援	11,178	162,702	621×262床(8施設)
施設併設加算	12,383	6,192	4,270×29床(1施設)
プライバシー保護のための改修補助	436,800	207,900	700×297床
防犯対策強化事業		22,000	564,100円×39施設
スプリンクラー等設置補助	31,720	205,245	
合計	1,228,779	1,189,589	

スケジュール（経過及び今後展開）

【経過（28年度）】	【29年度】	【今後予定（30年度～）】
施設整備…広域型特養1施設 他、地域密着型特養3施設、 小規模老健施設1施設 スプリンクラー設置 プライバシー保護改修	施設整備 開設準備支援 スプリンクラー設置 プライバシー保護改修 防犯対策強化事業	

みんなの審査会対象外
関連事業：

整理番号　：　11　－　3　－　0460